

「南部かしわ」の自家配合飼料給与と中抜き出荷法による飼養法

(畜試 中小家畜部)

1. 背景とねらい

「南部かしわ」昭和60年に普及奨励事項として普及に移しマニュアルにより普及してきた。しかし、最近消費者の自然志向から飼料を自家配合にして欲しいこと、一方食鳥処理場からは出荷時の雌雄体重差を少なくし、体重を斉一化するように求められた。

そこでこれに対応した「南部かしわ」を効率的に飼養生産する飼養管理技術を開発した。

2. 技術の内容

- ①発育増体成績は自家配合飼料と完全配合仕上げ飼料と同等の成績である。(表1)
- ②自家配合飼料による飼育は完全配合飼料より飼料代が低い傾向である。(表2, 3)
- ③雄は90日齢前後で中抜き出荷すると適当な体重・大きさであり、飼料要求率の改善にも有効である。(表1)
- ④雌の体重・大きさを雄と同等にするため、130日齢以上飼養する。(表1)

3. 成果の活用面・留意点

- ①自家配合飼料の利用に際し配合に要する施設・労力など条件を検討する必要がある。
- ②中抜き出荷の場合、増体と肉質を考慮し、出荷日齢を早め過ぎないこと。

4. 試験成績概要

表1 自家配合飼料と完配仕上げ飼料の増体成績

	入雛時 体重 (g)	出荷時体重		供試羽数 雌雄混飼
		雄(88日齢) (g)	雌(118日齢) (g)	
自家配合飼料区	437	2,375	2,182	400
完配仕上げ飼料区	445	2,394	2,197	400

表2 自家配合飼料内容

飼料原料名	配合割合	飼料原料名	配合割合	備	考
魚粉 (65%)	10%	食 塩	0.2%	価格kg当り	52.60円
二種混	75%	ビタミン	0.5%	CP	18.99%
米糠	5%	リンカル	1.0%	ME	2899.4
大豆粕	10%			TDN	70.7%
ルーサンミール	2%				

表3 仕上げ用配合飼料内容

飼料原料名	配合割合	備	考
穀 類	70%	価格kg当り	54.6 円
植物油粕	16%	CP	18 %
動物性飼料	9%	ME	3180
他	5%		